



令和3年2月4日
横浜市経済局産業連携推進課
(公財)横浜企業経営支援財団
聖マリアンナ医科大学
ソルブ株式会社
有限会社ロッキー化成



医療現場のニーズを市内中小企業が解決

飛沫対策マスク Pro M (プロエム)

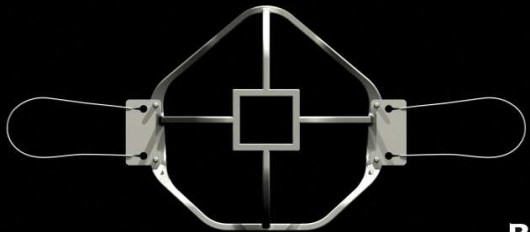
全国で
販売開始

横浜市では、健康・医療分野のプラットフォーム「LIP.横浜」の一環として（公財）横浜企業経営支援財団とともに、医療機器開発に取り組む市内のものづくり企業等を支援する医工連携事業を推進しています。

このたび、本事業の支援により、聖マリアンナ医科大学（川崎市宮前区）、ソルブ株式会社（横浜市港北区）、有限会社ロッキー化成（横浜市都筑区）の3者は、内視鏡検査（経口）専用の飛沫対策マスク「Pro M（プロエム）」を開発しました。既に同大学病院 内視鏡センターで先行販売分100個を導入し、飛沫感染対策に活用しています。複数の医師の協力により使用上の安全性を確認し、医療機器卸売業であるソルブ株式会社から全国の医療機関へ販売を開始しました。

なお、製造を担う有限会社ロッキー化成の提案により、同製品のフレーム部には焼却時の環境負担が少ないLIMEX（ライメックス）素材を使用しております。

protectionMask Pro M (プロエム) の特長



主原料

フレーム部：環境配慮素材LIMEX（ライメックス）*
紐部：ナイロン・ポリウレタン
ビニール部：LDPE（低密度ポリエチレン）

* LIMEX（ライメックス）は、炭酸カルシウムなど無機物を50%以上含む、無機フィラー分散系の複合材料です。

焼却処理された場合に一般的なPP,PEと比べてCO₂の排出を約20%削減できます。（TBM社調べ） <https://tb-m.com/limex/about/>

ラテックスフリー

ディスポーザブル

特許出願中

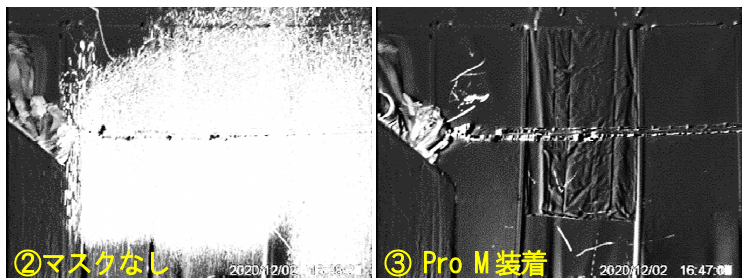
意匠出願中

商標出願中

- Pro M（プロエム）は様々な人が使えるよう、顔の輪郭に自然と沿うよう設計されています。
- 軽量設計で装着時の不快感を減らしています。
- 内視鏡スコープ挿入口は、医師の操作を妨げない設計となっています。
- 飛沫可視化試験の結果、Pro M（プロエム）装着により大幅な飛沫量の低減が確認されています。



① 使用例



② マスクなし

③ Pro M 装着

① 内視鏡検査（経口）では、先端に小型カメラ（CCD）等を内蔵した太さ1cm程の細長い管を口から挿入し、食道、胃などの内部を観察し、時には治療も行います。

②③ 飛沫可視化試験により、咳による飛沫を撮影した画像。内視鏡検査時は、咳込みや嘔吐反射で飛沫やエアロゾルが発生します。加えて新型コロナウイルスは無症候性感染者がいるため、十分な感染対策が必須となります。

